

菟田野小だより「桜梅桃李」

No.10

令和4年 9月1日(木)

(<http://www.utano-e.ed.city.uda.nara.jp/>)

秋の気配が忍び寄る9月の訪れ

夏休みが終わり、2学期が始まりました。今年はどうな夏休みになったでしょうか。久しぶりに家族で行動した方もおられれば、コロナ禍に振り回された方もおられたことと思います。

小学校では、9月には6年の修学旅行や4年の林間学習、運動会の練習などがあります。当日までの準備も含め、子どもたちの思い出に残るものになるよう取組を進めていきたいと思ひます。

また、まだまだ熱中症に注意が必要な時期です。もちろん感染予防対策も重要です。水分補給や手指消毒など、基本的なことを地道に行っていきたいと思ひます。



奉仕作業、ありがとうございました

8月20日(土)に曇天で絶好の作業日和の中、PTA奉仕作業を行いました。

3年ぶりとなるPTA奉仕作業でしたが、朝8時頃に、続々と草刈り機持参・作業正装(笑)して集まるお



父さん方の、なんと頼もしかったことか。奈良県で3000人を超えるぐらいのコロナ禍にも関わらず、全部で34名の参加がありました。希望の坂の両側や運動場など、とてもきれいになりました。

おかげをもちまして、9月から気持ちよく登校・学習ができます。本当にありがとうございました。準備などにご尽力いただきましたPTA役員のみなさまも、お疲れ様でした。

思うこと③ 「自分が変わる」

アニメ「サザエさん」の穴子さん役で知られる若本規夫さんは、26歳で声優デビューして今年で50年。その特徴ある声で今も活躍を続けていますが、かつて50歳を目前に壁にぶつかったことがありました。



新規の仕事がなくなり、レギュラーだけになってしまったのです。若本さんは、当初はそれを事務所など周囲のせいにしていました。しかし周囲のせいにしても、状況は何も変わりません。そこで、声優として一から鍛錬し直そうと決めたそうです。

基本的な発声はもちろん、大道芸や浪曲、音楽の発声も学び、歌のレッスンに励みました。呼吸法も見直しました。そうするうちに、50代半ばからナレーションなどの新しい仕事が入るようになりました。若本さんは、「敵は外ではなく自分自身の中にあつたのです」と、76歳の現在も早朝から3時間の鍛錬を欠かさないといいます(『若本規夫のすべらない話』主婦の友インフォス)

ともすると、人は困難に直面すると問題の原因を外に求めがちになります。ですが、前述の若本さんのエピソードにもあるように、周りを変えることより、まず自分を変えてみてはどうでしょうか。その中で環境も変わっていくのではないのでしょうか。もちろん口で言うほど簡単ではありませんが、自分を変えるというその挑戦の先に、思ってもみなかった新しい世界が広がっていくように感じます。



自身の置かれた環境の善し悪しを決めるのは「我らが心の善悪による」と昔の古文書にもあります。全てを成長のチャンスと捉える強き一念で、自らを鍛え磨く秋にしていきたいと思います。